

横浜市都筑区民文化センター

令和6年度 事業報告書

指定管理者

つづきアート＆メディアパートナーズ

施設概要

施設概要

施設名：横浜市都筑区民文化センター ボッシュホール

所在地：横浜市都筑区中川中央 1-9-33

構造・規模：RC 造（一部 S 造・SRC 造）、免震 地上 4 階

敷地・延床面積：敷地面積 12,037.66 m² 建築面積 1,508.92 m² 延床面積 5,201.6 m²

指定管理者

共同事業体名称：つづきアート＆メディアパートナーズ

代表団体 株式会社 tvk コミュニケーションズ

事業体構成員：株式会社 神奈川新聞社

株式会社 東急コミュニケーションズ

代表団体所在地：〒220-0024 横浜市西区西平沼町 6-1

代表者：株式会社 tvk コミュニケーションズ 代表取締役社長 熊谷典和

指定管理期間

令和 6 年度指定管理期間

2025年3月15日（土）～2025年3月31日（月）

開館時間

指定管理期間開館時間

2025年3月15日（土）～2025年3月31日（月）

9時00分～22時00分

I 令和6度の都筑文化センター指定管理遂行にあたっての基本方針

I. 指定管理開始および開館記念式典の実施について

2025年3月15日より、本施設の指定管理期間が開始された。これに伴い、翌3月16日には開館記念式典を開催した。本式典には、施設の客席数に合わせて約300名の招待者を迎えた。

招待対象は、ボッシュ関係者、都筑区内の地域関係者、各議員、各区民文化センター館長、ならびに抽選申込制で募った都筑区民50名を含む構成とした。

式典の模様は、メディア企業である指定管理者の特性を活かし、映像演出やインターネットによるライブ配信等を組み込んだ内容で実施しました。

2. こけら落とし公演および開館記念事業について

同日夕刻には、こけら落とし公演として「東亮汰 ヴァイオリン PLUS ハマのJACK オーケストラ」を実施しました。演奏者である東亮汰氏は都筑区出身のヴァイオリニストであり、地元ゆかりのアーティストによる公演を実現した点が大きな特徴です。

さらに、地域の音楽育成を目的とした企画として、都筑区内の小学生から高校生までで構成される「つづきジュニアストリングス」との共演を実施しました。この構成により、若さと将来への期待を感じさせる地域文化の発信を図りました。

本公演を皮切りとして、3月末にかけて各種の開館記念事業を展開。これらの取組により、施設のスタートを地域に広く周知するとともに、今後の文化活動の拠点としての基盤づくりを図りました。

3. 受付窓口業務について

施設予約対応、チケット販売管理、金銭の授受などを円滑かつ確実に行うため、予約システムに関する操作研修や実務に即したマニュアルの整備更新を繰り返しました。

さらに、他館との連携（協力）による研修も取り入れることで、職員の対応力と業務理解をより一層高める体制をとりました。これにより、窓口業務の効率化とサービスの質の向上が図られ、利用者からの満足度向上にもつながっていき、また、備品の納入・在庫管理や事業の企画運営、施設内の清掃・衛生管理など、施設全体の環境整備にも積極的に取り組み、安全で快適な空間づくりを実現しています。特に、季節や利用者層に応じた柔軟な対応を取り入れることで、より質の高いサービスの提供を目指しています。

さらに、当施設ではすべての職員が多様な業務に柔軟に対応できる体制を推進しており、職員一人ひとりが施設運営全体を理解し、協力し合える環境を整えています。日々の業務点検に加え、必要に応じて点検箇所や頻度を見直すことで、予防保全にも注力。小さな異変にも迅速に対応できる体制を確立し、施設の長期的な安定運用に貢献しています。今後も、職員、受付スタッフのスキル向上や業務改善に取り組みながら、利用者にとってより魅力的で信頼される施設運営を目指してまいります。

2 令和6年度の施設運営の方針

1. 基本方針

安全で円滑な施設運営を基本とし、地域の文化芸術を発信する拠点としての役割を果たすとともに、利用者にとって快適で信頼される施設を目指します。

2. 多機能施設の活用

本施設は、301席の「ボッシュホール」に加え、ギャラリー、リハーサル室など多様なスペースを有しております、それらを活用した開館記念事業や多彩な文化プログラムの展開を計画します。これにより、地域文化の多面的な発信を図ります。

3. 安全・安心の運営体制

来館者の安全と安心を最優先とし、設備の定期的な保守管理や、スタッフによる丁寧で柔軟な対応を継続的に行うことでの、安定した運営体制の維持に努めます。

4. サービス品質の向上

利用者からの意見・要望を積極的に取り入れ、施設サービスの改善と質の向上を図ります。

フィードバックを基に、より利用しやすい環境整備や対応力の強化を行います。

5. 地域との連携と将来展望

今後も持続可能な運営体制を構築し、地域コミュニティや関係団体との連携を強化します。

文化芸術の振興および地域活性化に貢献する公共文化施設としての役割をさらに高めてまいります。

安全かつ円滑な施設運営を行い、計画していた開館記念事業の多くを開催することができました。ボッシュホールは、301席のホールをはじめ、ギャラリー・リハーサル室など多様なスペースを備え、地域の文化芸術を発信する拠点として位置づけられています。

開館事業では、これら全ての施設を活用し、多彩なプログラムを実施しました。

運営面では、来館者の安心・安全を最優先に、設備の保守管理やスタッフによる丁寧な対応に努め、良好な運営体制を確立しています。また、利用者からの意見や要望を積極的に取り入れ、サービス向上に努めました。

今後も持続可能な運営を継続し、地域コミュニティとの連携を強化するとともに、文化芸術の振興と地域の活性化に貢献してまいります。

3 令和6年度の施設管理の方針

1. 基本方針本

施設の管理運営では、業務内容に応じた明確な役割分担のもと、効率的かつ高品質な維持管理体制を構築し、利用者にとって安全で快適な環境づくりを目指します。

2. 保守点検

業務の実施施設全体の保守点検業務は、共同事業体構成員である株式会社東急コミュニケーションズが担当します。同社の専門技術と実績を活かし、法令・基準に則った定期点検を確実に実施するとともに、現場巡回を通じて設備の異常や劣化を早期に把握・対応し、施設の安定運用とリスク低減を図ります。

3. 日常維持管理

業務の対応日常的な清掃、軽微な補修、備品管理などの維持管理は、代表団体である株式会社トヨタコミュニケーションズが担います。これまでの公共施設運営経験を活かし、利用者目線でのきめ細かな管理を行い、常に清潔で快適な利用環境を維持します。

4. 予防保全の強化

「維持管理実施表」に基づいた計画的な運用を基本としながらも、必要に応じて点検箇所や頻度を見直し、予防保全に積極的に取り組みます。利用者への影響を最小限に抑えるため、作業時間や方法にも配慮した運営を徹底します。

5. 人材育成と対応力向上

現場スタッフに対しては、継続的な教育・研修を実施し、技術力および対応力の向上を図ります。全体として、施設の長期的な安定運営とサービス品質の向上に向けた人材体制を構築してまいります。

本施設の管理運営においては、業務内容に応じた適切な役割分担のもと、効率的かつ質の高い維持管理体制を構築しています。

具体的には、施設の保守点検業務は共同事業体内の株式会社東急コミュニケーションズが担当し、同社の豊富な実績と専門的な技術力を活かして、法令や基準に準拠した定期点検・保守対応を確実に実施しています。

定期的な現場巡回も行い、設備の異常や劣化の早期発見・対応につなげることで、施設の安定運用とリスクの最小化を図っています。

一方、日常的な維持管理業務は、共同事業体の代表団体である株式会社トヨタコミュニケーションズが担っています。同社は本施設以外にも複数の指定管理業務を手がけており、公共施設運営における豊富な経験と実績を背景に、利用者目線でのきめ細かな維持管理を実施しています。施設の清掃や軽微な補修、備品の管理など、日常的な対応を的確に行うことで、常に快適かつ安全な利用環境を維持しています。

また、保守・維持管理の各業務においては「維持管理実施表」に基づいた計画的な運用を基本としつつ、必要に応じて点検箇所や頻度を柔軟に見直すなど、予防保全にも積極的に取り組

んでいます。さらに、施設利用者への影響を最小限に抑えるため、作業時間の調整や配慮ある運営を徹底し、施設全体の管理レベル向上に努めています。

現場スタッフへの継続的な教育・研修も実施し、技術力と対応力の向上にも力を入れています。

4 令和6度の施設運営に関する計画について

(I) 趣旨

当団体を構成する企業はそれぞれが市内文化施設の運営経験を有しています。そこで培った施設運営のノウハウ、専門的な知識や経験を有する豊富な人材を活用し、安心・安全かつ効率的なスタッフ職員を配置し運営します

(2) 具体的取組內容（實施事項）

運営組織の構造について

I. 専門性の高い職員の配置

館長1名を中心に、各業務に精通した職員を配置。無理のない勤務体系で施設の運営に当たります。

2. 地域人材の積極的雇用

職員やカルチャースタッフは地域人材を積極的に雇用し、地域特性を熟知した事業企画や利用者、来場者の相談対応をします。

3. 職員のマルチジョブ化

効率的な運営体制を構築するために、配置する職員が担う日常業務を縦割り化せずに補完し合えるよう職員をマルチジョブ化し、常勤職員の事故、傷病といった緊急時にも業務に支障をきたさない運営を行います。

① 勤務体制

指定管理期間開始とともに、職員は「早番」「遅番」の2交代制と、受付スタッフ「朝番」「昼番」「夜番」の3交代制を組み合わせ、全体を通して一定のサービス水準を確保します。

② 休館日開館時間設定

休館日	毎月第2火曜日（祝日の場合は、翌日を休館日とします）
	2025年3月11日（火）
開館時間	2025年3月15日 開館記念式典前日のため、都筑区へ申請し17時閉館
	2025年3月16日以降 9時開館 22時閉館

③ 非常時の連絡体制

利用者的人身事故や設備トラブル等による事故発生時は、施設責任者（館長もしくは副館長）や構成団体の担当部署が対応フローに則り適切な対応に当たります。

緊急事態発生時において、当施設に配置されているスタッフ以上の追加要員が必要であり、また発生した事象が区民文化センター棟に限定される場合は、隣接するボッシュ本社棟配置予定の構成企業スタッフを一時的に派遣し、連携して迅速な事態の鎮静化を図ります。

5 令和6年度の文化事業について

開館記念式典実績報告

1. 基本方針

都筑区民文化センター（ボッシュホール）の開館を広く地域に周知し、地域住民とのつながりを深めることを目的に、開館記念式典を実施します。

2. 映像配信と視聴機会の拡充

より多くの区民に式典の様子を届けるため、YouTube LIVEでの同時配信を実施し、会場に来場できない方にも視聴の機会を提供します。

3. バリアフリー対応

すべての参加者にとって安心して参加できるユニバーサルな環境を整備し、インクルーシブな式典の実現を図ります。

4. 地域連携企画

地域連携の取り組みとして、来場者（来館者）向けの企画を実施します。

施設の管理運営では、業務内容に応じた明確な役割分担のもと、効率的かつ高品質な維持管理体制を構築し、利用者にとって安全で快適な環境づくりを目指します。

5. 開館記念事業（こけら落とし以外の企画検討）

こけら落とし公演に続き、以下の分野を中心に複数の企画を検討します。

ホール以外でもギャラリーを利用した企画、地元アーティストや文化団体と連携し、地域の文化を紹介する企画展の開催を検討。多様なジャンルの芸術作品を展示し、来館者の関心を喚起します。ワークショップ・体験プログラム子どもから大人まで参加可能な音楽やアートの体験講座を企画。

地域住民の参加を促進し、施設利用の裾野拡大を目指します。

開館記念事業は延べ 6,807 名の入場がありました。

日程	公演名	人数
3月16日	ボッシュ ホール 開館記念式典	285名
3月16日	東亮汰 ヴァイオリン PLUS ハマの JACK オーケストラ	275名
3月20日	都筑 DREAM&Culture FESTIVAL	946名
3月22日	狂言 一三番叟・蝸牛-	274名
3月23日	「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」公開収録	234名
3月28日～29日	るる島の秘密	725名
3月28日～29日	るる島の秘密関連イベント「影絵体験コーナー」	541名
3月28日～29日	るる島の秘密関連イベント 「ボッシュ ホール宝探し」	230名
3月30日	つづきジュニアストリングスコンサート	274名
3月16日～24日	ココロはずむアート展 Part14	2,832名
3月22日～24日	ベイビーシアター「What is Like？」	191名
	合計	6,807名

● 3月16日（日） 開館記念式典について

開館記念式典では、より多くの区民に式典の様子をご覧いただけるよう、ホール外壁の大型ビジョンへの映像投影を実施するとともに、YouTube LIVEでの同時配信を行いました。これにより、会場外からの視聴機会を提供し、地域への開かれた式典とした。また、式典のバリアフリー対応として、手話通訳者2名を配置し、情報保障に努めた。式典開始前には、ロビーにて「つづきジュニアストリングス」の講師陣による記念演奏を実施。演目にはシベリウス作曲「アンダンテ・フェスティーヴォ」を選定し、来場者に対し格式ある雰囲気を演出した。さらに、地域連携の一環として「café 1886 at Bosch」と連携した特典企画を実施。当日は会計時に「ボッシュ ホール開館おめでとう」の合言葉を伝えることで、以下の特典を提供しました。

カフェラテ（スマールサイズ・ホット/アイス）：通常 540円のところ 316円にて販売し、160杯を提供（通常の約3倍の販売数）。ミニソフトクリーム：小学生以下を対象に限定50名

分を無料配布し、最終的に 40 個を配布した。

これらの施策を通じて、地域住民とのつながりや親しみやすさを高めるとともに、開館を祝う機運の醸成を図ることができました。

● 3月 16 日（日） 東亮汰 ヴァイオリン PLUS ハマの JACK オーケストラ

～都筑区出身、新進気鋭のヴァイオリニストが贈るドイツ音楽のタベ～

開館記念コンサートは、横浜市内の音楽専門施設である「横浜みなとみらいホール」との共催により実施し、音楽的専門性と事業の質の担保を図った。

出演者には、都筑区出身であり、第 30 回ヨハネス・ブラームス国際コンクールにて第 2 位を受賞するなど、国際的に目覚ましい活躍を見せている若手ヴァイオリニスト・東亮汰氏を迎えました。また共演には、横浜を代表するプロフェッショナルな音楽団体である「ハマの JACK オーケストラ」を起用し、地域性と芸術性を兼ね備えた記念公演となった。

このコンサートは、区制 30 周年を迎える比較的新しい街であり、子育て世代が多いという都筑区の特徴をふまえ、若手実力派アーティストによるフレッシュな公演として企画。地域に根差しながら、将来への期待を感じさせる構成とした。

また、地域参加型の取組として、レセプショニストボランティアを募集し、当日は 3 名のボランティアスタッフを受け入れ、会場案内や来場者対応など運営補助に従事してもらいました。さらに、終演後にはホワイエにて CD 購入者を対象に東亮汰氏によるサイン会を実施し、出演者と来場者の交流の場を設けました。

● 3月 20 日（木祝） 都筑 DREAM & Culture FESTIVAL

ボッシュホールの開館に際し、都筑区における芸術文化活動の醸成を目的として、アマチュアのパフォーミングアーティストに発表の機会を提供する公募型の発表会イベントを開催しました。

本イベントは、より多くの多様な団体に参加いただけるよう、「音楽」「伝統芸能」「ダンス」の 3 ジャンルに分けた公募形式で設計し募集期間は 2024 年 12 月 16 日（月）10:00 から 2025 年 1 月 17 日（金）17:00 までと期限を設け、Google フォームを用いて応募を受け付けました。

最終的な申込総数は 30 件であり、内訳は以下の通りであった。

午前の部（音楽）：11 組 午後の部①（伝統芸能）：8 組 午後の部②（ダンス）：11 組

出演団体の選定にあたっては、ボッシュホール開館を地域文化団体と共に盛り上げるという企画趣旨に基づき、パフォーマンスの質、出演者の世代構成、ジャンルのバランスなどを考慮し選出を行った。本番に向けては、2025 年 2 月 1 日（土）に参加団体を対象とした事前説明会を実施した。当日は多数の来場者があり、一時的に入場を制限する時間帯が発生したが、イベントの様子はホール外壁ビジョン、2 階ホワイエ、1 階ロビーの各モニターにも投影し、満席時には来場者を分散誘導することで多くの方に公演を楽しんでいただけるよう対応を行うことができました。

● 3月22日（土） 狂言 「三番叟・蝸牛」

開館記念事業の一環として、日本の伝統芸能である「三番叟（さんばそう）」と「蝸牛（かぎゅう）」の二演目を上演しました。「三番叟」は、五穀豊穣や天下泰平を祈る祝儀の舞であり、場を清め悪霊を払う意味も持つ伝統的な演目であることから、公演では出演者自身がその意義や背景について直接解説を行い、現代において敷居が高いとされる能楽をより理解しやすい内容としました。

あわせて上演された「蝸牛」は、ユーモアを交えた比較的親しみやすい演目であり、伝統芸能に馴染みのない来場者も楽しめる構成とすることで、幅広い観客層に向けた演出を行いました。

本公演は、横浜市内の能楽専門施設である「横浜能楽堂」との共催により実施し、専門性と公演の質を確保し、また運営に際しては、レセプショニストボランティアを募集し、当日は3名のボランティアスタッフを受け入れ、来場者対応や会場案内に協力を得た。

● 3月23日（日） t v k 大感謝祭「あっぱれ！KANAGAWA 大行進」公開収録

指定管理者の本来機能を活かした広報施策として、テレビ神奈川の人気番組との連携により、ボッシュホールを含む都筑区各所の魅力を紹介する企画を実施した。本取組では、ボッシュホールを会場として公開収録も行い、施設および周辺地域の認知向上を図った。

公開収録の模様は、2025年3月29日放送回にて神奈川県全域に向けて放送され、ボッシュ・フォーラム・つづきの魅力を広く発信する機会となった。

● 3月28日（金）～29日（土）劇団かかし座×ArtstageSAN 合同企画作品「るる島の秘密」

開館記念事業として、都筑区内に拠点を置く影絵劇団「かかし座」との連携により、演劇作品『るる島の秘密』を上演した。本作品は、韓国の人形劇団 Artstage SANとの国際共同制作であり、影絵の枠を超えた演出とストーリーテリングが特徴である。

国際性の高い地域特性を持つ都筑区にふさわしい演目として、かかし座の既存レパートリーから選定された。上演にあわせて、子ども向けの参加型ロビーイベントも開催された。

【ロビーイベント①：「るる島の秘密宝探し】ホール内に貼られたキャラクターとアルファベットを探し、正しいキーワード「Bosch Hall」を受付に伝えると景品が当たるくじに参加できる企画。

実施日時は3月28日（金）と29日（土）で、対象は小学生以下、合計230名が参加した。

賞品内容：A賞：開館記念トートバッグ（50個）B賞：オリジナルトートバッグ（30個）

C賞：ミニソフトクリーム券（30個）D賞：特製ステッカー（70個）

【ロビーイベント②：「影絵体験コーナー】かかし座制作の影絵美術を用いた体験型ワークショップを、会議室1・2にて実施。

実施日・時間は上記と同様で、延べ 541 名が参加した。さらに、日韓劇団の共同制作に関連し、劇団かかし座の働きかけにより、本作品のデモンストレーション上演が神奈川県庁にて実施された。日韓親善議員連盟会長、神奈川県知事、駐横浜韓国総領事館総領事などが出席した。公演当日には、日韓国交正常化 60 周年を記念する看板をホワイエに設置し、国際文化交流の意義を象徴づけた。

● 3月30日（日） つづきジュニアストリングスコンサート

開館記念事業の一環として、都筑区内の文化団体である NPO 法人都筑文化芸術協会と協働し、地域の子どもたちによる弦楽演奏公演を実施した。

出演団体は、2023 年に活動を開始した若い弦楽団であり、地域の子どもたちが真摯に音楽に取り組む姿勢と、熱心な講師陣による指導のもと、高い音楽的水準を目指す演奏内容となるよう、企画段階から団体と丁寧に調整を重ねた。本公演は、単なる「子どもの発表」の枠にとどまらず、開館記念にふさわしい質の高い演奏として、ホールの新たな門出を地域と共に盛り上げるものとなった。また、当日はレセプショニストボランティアを募集し、3 名のボランティアスタッフを受け入れて来場者対応等に協力を得た。

● 3月22日（土）～24日（月）

BEBERICA theatre company あかちゃんとおとのための舞台芸術
ベイビーシアター「What is Like？」

都筑区が横浜市内でも特に子育て世帯の多い地域であるという特徴をふまえ、乳幼児を対象とした参加型演劇公演を実施した。本公演では、乳幼児を観客ではなく“共に舞台を創る出演者”として位置づけ、主体的に参加できるプログラム構成とした。

演目の選定においては、同席する保護者が乳幼児の視点や世界を演劇を通じて体感できるよう工夫し、親子間のコミュニケーションを促進することを目的とした。演出面では、リハーサル室前の冊子扉を開放し、屋外広場と室内空間を連動させて、自由で開放的な環境を創出した。また、中川地域ケアプラザの協力のもと、地域の子育て広場やサークルの主宰者からボランティア 4 名を受け入れ、来場者対応や運営補助に従事してもらい、地域連携による事業展開を図った。

● 3月16日（日）～3月31日（月） ココロはずむアート展 Part14

開館記念事業の一環として、障がいのある方々が主体的に参加できる展覧会を実施した。本展は、もともと各福祉事業所内で行われていた作品展を、公共文化施設であるボッシュ ホールにて開催することで、より多くの来場者に開かれた形へと発展させた。作家たちが日常生活の中で創作した作品を通じて、障がい者と接する機会の少ない来場者にも、当事者の生活や世界観に寄り添う視点を提供することを目的とし、実行委員会との協議を重ねながら展示内容を構成した。

また、関連イベントとして 3 月 29 日（土）にトークイベント「作家を語る、作家が語る」

を開催。作家本人と、その生活を日常的に支える施設職員がともに登壇し、作品の背景や制作過程について語ることで、作品理解を深めるとともに、障がいのある方々への理解促進を図った。

6 令和6年度の維持管理について

(1) 趣旨

I. 目的安全で快適な施設

利用環境を維持し、設備の安定稼働と利用者満足度の向上を目指しました。

2. 管理体制

共同事業体内の構成企業が定期点検・保守を担当しました。

運営スタッフが日常清掃や軽微な補修を実施しました。

専門警備会社と連携し、緊急時は24時間対応体制を整備しました。

3. 主な維持管理内容

法定設備点検

設備の定期点検・清掃

毎日の清掃と衛生管理備品管理と安全巡回

4. 予防保全点検

結果をもとに早期補修を実施し、トラブル防止に努めました。

5. 教育・訓練

スタッフ向けの技術研修と緊急対応訓練を定期的に実施しました。

6. 環境配慮

省エネ機器の導入やリサイクル推進を進めます。

都筑区民文化センター ボッシュホール 令和6年度 備品一覧

2025年4月1日

都筑区民文化センター ボッシュホール 令和6年度 修繕一覧

2025年4月1日

No.	修繕年月日	修 繕箇 所	金 額 (円)	業 者 名
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

令和6年度「横浜市都筑区民文化センター」収支予算書兼決算書
(令和7年3月15日～令和7年3月31日)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	5,900,000		5,900,000	5,900,000	0	令和7年3月15日～3月31日分
物価高騰に伴う支援金	0		0	0	0	
利用料金収入	0		0	0	0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	0		0	0	0	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他（広告ラック収入・預金利息）	0		0	0	0	
収入合計	5,900,000	0	5,900,000	5,900,000	0	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	3,370,500	0	3,370,500	3,444,100	△ 73,600	
給与・賃金	3,326,500		3,326,500	3,444,100	△ 117,600	※指定管理期間割合55%として計算
社会保険料			0	0	0	
通勤手当	44,000		44,000		44,000	
健康診断費			0	0	0	
労働者福祉共済掛金			0	0	0	
退職給付引当金繰入額			0	0	0	
事務費	431,772	0	431,772	359,331	72,441	
旅費	6,875		6,875	0	6,875	
消耗品費	123,750		123,750	155,529	△ 31,779	アスクル97457 Amazon58072
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	68,750		68,750	168,951	△ 100,201	イベカラデザイン費コピー費パフレット印刷費
通信費	90,750		90,750	16,833	73,917	フレッツLINE
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費	4,950		4,950	1,925	3,025	神奈川新聞購読
施設賠償責任保険	27,500		27,500	0	27,500	
職員等研修費	15,125		15,125	0	15,125	
振込手数料	7,425		7,425	0	7,425	
リース料	54,197		54,197	16,093	38,104	コピー機、レシーバー
手数料	27,500		27,500	0	27,500	
地域協力費	4,950		4,950	0	4,950	
事業費	0	0	0	0	0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	0		0	0	0	SDGS映画
自主事業費	0		0	0	0	
管理費	2,085,874	0	2,085,874	1,875,552	210,322	
光熱水費	1,043,900	0	1,043,900	432,898	611,002	
電気料金	1,043,900		1,043,900	420,061	623,839	
下水道料金	0		0	2,690	△ 2,690	
水道料金	0		0	10,147	△ 10,147	
清掃費	549,945		549,945	851,400	△ 301,455	定期清掃費
修繕費	0		0	0	0	
機械警備費	66,731		66,731	99,330	△ 32,599	
設備保全費	425,298	0	425,298	491,924	△ 66,626	
設備保守	425,298		425,298	454,269	△ 28,971	東急コミニティ
消防設備保守	0		0	0	0	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	37,655	△ 37,655	ゴミ回収費他
共益費	0		0	0	0	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	借受消費税と仮払消費税の差額
印紙税	0		0	0	0	
その他（）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	240,668	0	240,668	78,650	162,018	
本部分	240,668		240,668	78,650	162,018	労務・経理等の本部事務経費
当該施設分			0	0	0	
ニーズ対応費			0	0	0	
支出合計	6,128,814	0	6,128,814	5,757,633	371,181	
差引	△ 228,814	0	△ 228,814	142,367	△ 371,181	

令和6年度 管理運営業務点検報告書

対象施設	横浜市都筑区民文化センター
対象期間	令和7年3月15日～令和7年3月31日
指定管理者	つづきアート&メディアパートナーズ
実施日	令和7年7月3日
点検方法	<p>1 利用状況統計の提出・内容点検: 隨時 2 管理運営状況ヒアリング: 令和7年7月3日 3 巡視点検(実地調査): 令和7年7月3日</p>
講評	<p>1 利用統計の提出・内容点検: 隨時作成・提出された。修繕状況等も逐一報告されている。</p> <p>2 管理運営状況ヒアリング: 備品の購入について、コスト意識をもって取り組んだ。</p> <p>3 巡視点検(実地調査): 特に異状なし。</p>
指摘事項	
改善状況	
添付資料	業務点検結果シート(別紙)

業務点検結果シート(令和6年度総括)

施設名 横浜市都筑区民文化センター

頻度	点検項目	点検内容	点検結果
毎月	利用料金収入実績	収入実績、見込額達成状況	適正
	利用者実績	開館日数、入館者数、利用層別利用数、居住区分別利用数、その他利用数	適正
	会議室等稼働率	部屋別の稼働率	適正
四半期	指定管理料の執行	指定管理料の支出金額、執行率	適正
		ニーズ対応費執行状況(品目、数量、金額)	適正
	自主事業実施状況	募集対象、事業名、開催回数、参加人員、経費、1人あたり参加費、講師謝金、事業計画書の自主事業計画との整合性	適正
	運営体制	館長、指導員(副館長)、スタッフの勤務実績	適正
	施設の管理状況	点検日時、点検状況 事業計画書どおりの適切な管理の実施(第三者への委託状況等)	適正
	修繕の実施状況	施設修繕の実施状況	適正
	備品	備品(I種)の購入・廃棄状況	適正
	広聴、ニーズ把握	広聴(窓口、電話、ご意見箱、アンケート、市コールセンターへの意見・要望等)や利用者ニーズの把握状況と対応、掲示の有無等	適正
	巡回点検	受付窓口の状況、館内の状況等	適正
年1回	利用方法	利用要綱や利用案内の内容、備付け状況等	適正
	個人情報保護	個人情報保護取扱特記事項の取組状況(研修の実施、誓約書の提出等)	適正
	緊急時対策	緊急時対策マニュアルの作成・運用状況	適正
	防犯・防災対策	防犯・防災対策マニュアルの作成・運用状況	適正
		消防計画の作成・提出状況	適正
	保険	施設賠償責任保険への加入	適正
	研修	職員等に対する研修の実施状況	適正
	本市重要施策への実現に向けての取組	横浜市一般廃棄物処理基本計画に沿った取組、市内中小企業への優先発注等の取組状況等	適正
随時	地区センター委員会	日時、場所、出席者、議題、意見等	-
	利用者会議	日時、場所、出席者、議題、意見等	-
	事故等の発生状況	日時、発生状況、対応、再発防止策の検討	適正
	損害賠償	損害賠償の発生状況	特になし
	不可抗力	不可抗力発生に伴う影響	特になし
	情報公開	件名、申請状況、対応状況	特になし
	喫緊の対応が必要又は特に重要な意見、要望	すぐに対応が必要な施設に対する意見、要望	特になし
	特に重要な施設の維持管理、修繕に関すること	利用の制限を伴うなど、重要な施設の維持管理、修繕に関する状況	特になし
特筆すべき事項	サービス向上や経費節減等の取組事項		改善指導事項
	・備品の購入について、コスト意識をもって取り組んだ。		・特になし